

# 岩国基地関連の特別要望



令和元年6月

山口県

## 空母艦載機移駐後の状況を踏まえた騒音対策の推進 及び地域振興策の確実な実施について

昨年3月末の空母艦載機の移駐完了後、岩国基地は航空機の配備機数で極東最大級の基地となり、基地周辺住民は、倍増した航空機による騒音の増大などの不安を抱え続けています。

こうした中、県と地元市町において、移駐完了後の騒音の状況を分析・検証した結果、その状況は、移駐判断時に国から示された騒音予測の範囲内となっていますが、その一方で、空母着艦資格取得訓練（CQ）などの米軍の新たな運用等により、地域や時期によって差はあるものの、移駐直前と比べると総じて騒音が増大しており、基地周辺住民の生活に大きな影響を及ぼしています。

特に、空母艦載機着陸訓練（FCLP）前後の4月と5月には広範囲にわたり騒音が増大し、また、FCLP後のCQでは夜間の離着陸による騒音のため、関係市町へ多くの苦情が寄せられたところです。

さらに、FCLPについては、岩国基地が予備施設指定されることに伴い、岩国での実施の可能性への潜在的な不安が大きくなっています。

このため、国においては、このような移駐後の騒音の状況や基地周辺住民の不安をしっかりと受け止め、飛行運用に係る騒音軽減措置と、訓練の事前通知やFCLPの予備施設指定からの除外などの住民の不安解消に向けた措置、住宅防音工事の対象拡大など地域の実情に即した防音対策等に取り組むことが必要です。

また、基地の存在により地元自治体や住民が抱え続ける負担等を踏まえ、市町への再編交付金の交付終了後の施策や再編関連特別地域整備事業（県交付金）の確実な実施が不可欠です。

については、国において、次の事項について、特段の措置が講じられるよう、最大限の御配慮をお願いします。

## ◇ 空母艦載機移駐後の状況を踏まえた騒音対策の推進

### ○飛行運用に係る騒音軽減措置の実施

- ・ F C L P の直前に行われる訓練のような集中的な飛行訓練について、岩国基地周辺での実施の緩和や訓練場所の分散など、騒音軽減措置の実施
- ・ C Q 実施時において、滑走路の時間外運用や夜間の離着陸を可能な限り控えるなど、運用時間帯への配慮
- ・ 航空機の飛行方法等に関する岩国日米協議会の確認事項の遵守

### ○住民の不安解消に向けた措置の実施

- ・ 住民生活への影響が大きい訓練の事前通知や、空母艦載機の滞在状況等に関する十分な情報提供
- ・ F C L P の予備施設指定からの除外
- ・ F C L P の恒常的な訓練施設の早期整備

### ○国による騒音対策の拡充

- ・ 騒音測定器の増設など、移駐後の騒音状況の更なる実態把握
  - ・ 住宅防音工事の対象拡大など地域の実情に即した防音対策
- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 第1種区域等の対象区域の拡大、事務所・店舗等への補助対象施設の拡大</li><li>・ 年間W値だけでなく、空母艦載機滞在時の騒音の状況に対応した第1種区域の見直し など</li></ul> |
|---|

## ◇ 地域振興策の確実な実施

### ○市町への再編交付金交付終了後の施策の確実な実施

(令和3年度に交付終了予定)

### ○地元市町が求める地域振興策の実現に向けた再編関連特別地域整備事業(県交付金)の確実な実施

(確実な予算確保と地元ニーズへの柔軟な対応)

◎ 空母艦載機移駐後の岩国基地周辺における航空機騒音の状況

<平成30年度W値と艦載機移駐完了前との比較>

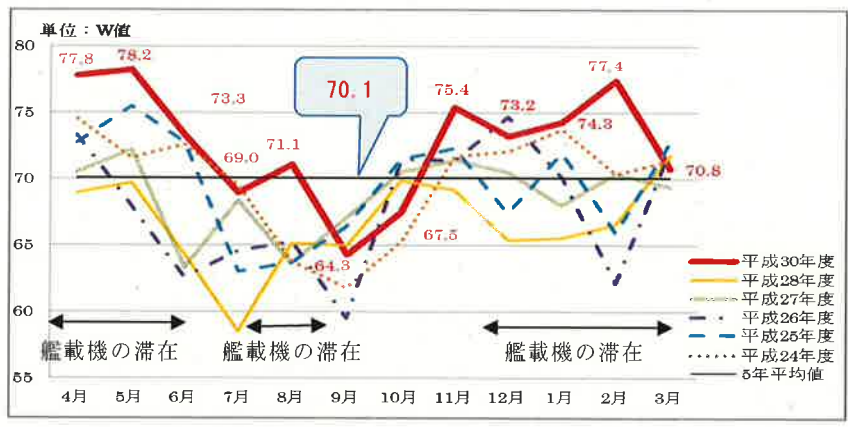
○ 沖合移設後5年平均(平成24~28年度)との比較 **8割の地点で増加**

- ・ 平成30年度の年間W値は、比較可能な25地点のうち19地点で増加している。

主な増加地点：基地周辺（岩国市尾津町、車町、新港町、旭町）  
飛行ルート近辺（周防大島町三蒲、浮島、大竹市阿多田島）

例) 岩国市尾津町の状況

沖合移設後5年平均(70.1W)と比べると、移駐完了後の月別のW値は、7月、9月及び10月以外の全ての月で増加している。



<平成30年度の月別W値の最高値の状況>

	H30. 4月	5月	6月~8月	9月~1月	2月~3月
月別最高値の地点数(全32地点)	12	16	1	0	3
特に1日W値が高い主な地点	岩国市尾津町 84.2W(4/25)	岩国市尾津町 87.5W(5/8) 周防大島町大島 84.9W(5/8)	-	-	-

- ・ FCLP前後の4月と5月に、9割の地点(28地点)において、月別W値が、この1年間の月別最高値を記録している。
- ・ 4月中下旬と5月初旬の特定日においては、岩国市や周防大島町など広範囲にわたり、1日当たりのW値が高くなっている。

<艦載機移駐後の主な運用状況と影響>

月日	主な運用状況	地元への影響等
4~5月	FCLP前に実施された訓練(岩国周辺)	○ 騒音の増大により地元市町に対して多数の苦情(岩国市: 4月748件、5月903件)
5月3日~25日	FCLP(実施場所: 硫黄島)	○ FCLP予備施設の当初指定期間(~5/13)満了後、米軍の運用上の理由に伴う訓練延期・指定延長
5月30日~6月3日	CQ(実施場所: 九州沖(岩国基地を拠点に実施))	○ 夜間離着陸等による騒音の発生により、岩国市に対して多数の苦情(5日間で290件)